

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育内容人間関係 Field of human relations on childhood		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程必修、教職課程必修(幼稚園教諭二種))	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教育原理、教育実習事前事後指導等の教職科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得必修科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小林研介	講義棟1階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
<p>子どもの発達所それぞれの時期（年齢）ごとの人とのかかわりの特長と意味を探求する。 保育者の役割と影響の大きさを認識する。 保育者として、子どものそれぞれの時期にどのようなかかわりが望ましいかを考察する。</p>				
授業の目標				
<p>①乳児期のヒトとの関わりの重要性を明確にすることができるようにする。 ②各時期（年齢）ごとの子どもとおと保育者の関り方を理解し、適切な関りを行うことができるようにする。 ③保護者と保育者の適切な関りのあり方が保育に影響するという点を説明することができるようにする。</p>				
授業の方法				
講義、映像教材の視聴観察、事例研究、グループディスカッション				
学習の成果（学習成果）				
子どもの成長段階での人とのかかわりの特長と意味がわかり、保育者・保護者として、どのように対応することが望ましいかを実践することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	幼児期の教育の特徴			
第2回目	領域の考え方			
第3回目	私たちにとって人間関係とは			
第4回目	0歳児の人との関わりと保育			
第5回目	1歳児の人との関わりと保育			
第6回目	2歳児の人との関わりと保育 —①—保育現場の実際			

第7回目	2歳児の人との関わりと保育 ー②ー具体的な実践例
第8回目	3歳児の人との関わりと保育 ー①ー保育現場の実際
第9回目	3歳児の人との関わりと保育 ー②ー具体的な実践例
第10回目	4歳児の人との関わりと保育 ー①ー保育現場の実際
第11回目	4歳児の人との関わりと保育 ー②ー具体的な実践例
第12回目	5歳児の人との関わりと保育 ー①ー保育現場の実際
第13回目	5歳児の人との関わりと保育 ー②ー具体的な実践例
第14回目	気になる子との関わりと援助
第15回目	保護者とのかかわりのあり方
事前・事後学習	幼稚園のホームページを見ておくこと。幼稚園教育要領を読み返すこと。

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	出席を重視するとともに、参加意欲を見る。私語、居眠り厳禁。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	70%	講義内容に対する証明がなされ、的確な回答が記述されているか。
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

教科書：演習保育内容人間関係（建帛社）
 参考図書：幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領

履修上の留意点・ルール

私語が多い場合は退席させるときもある。